

CES 活動ニュース

1. クラス I 活動新企画・「CES さくら咲くプロジェクト」

～新しい環境活動への取組み・興味のある独身者を募ります・・・！

新規事業「CES さくら咲くプロジェクト」(通称：さくさくプロジェクト)の募集を開始しました。この企画は、昨年実施した「CES 環境講座(全8回)」の受講生による発案で、「千代田区の区花である『さくら』を中心に各種イベントを開催することにより、若い世代の方々に環境への関心を高め、持続可能な社会をめざす」ことをねらいとしています。

「CES さくら咲くプロジェクト」第1弾は、独身の男女を対象にした「ときめき・出会いの千代田エコツアー・夏編」(全2回)です。この企画に興味のある独身の方は、是非ふるってご参加ください！

【第1回】7月20日(土) 午後 13:00～17:00

テーマ：「神田川、日本橋川、隅田川クルージング」等

～江戸の町の生活を支えた川の環境を感じよう！

【第2回】8月28日(水) 朝 7:00～8:15

テーマ：「朝ヨガ」

～朝の大気を身体いっぱいを感じ、体内環境を整える朝食を！

応募方法など、詳しくはコチラ→<http://www.chiyoda-ces.jp/class1/sakura/#/entry>

CESでは、年間を通して、四季折々の自然を生かした活動企画としてイベント等を、住民・子ども・在勤者など、さまざまな層に向けて発信してまいります。



環境に関心を持つひとと土の出会いの場に

2. みんなで楽しむエコライフ～千代田区「環境・リサイクル祭り」に出展しました

6月14日(金)、千代田区役所 区民ホールで開催された「環境・リサイクル祭り」(主催：千代田区)に出展しました。

当日は、環境リーダーをはじめ、学生など外部支援者等の協力も得ながら、好評のうちに終えることができました。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。出展内容は、つぎのとおりでした。

・工作コーナー：

①落ち葉の「装飾ファイル」作り

②押し花の「装飾ものさし」作り

③使用済みカレンダーの「風車」作り(資源の有効利用啓発)

・法政大学CES研究ゼミによる「区民のエコ活動調査」

・「環境クイズ」…来場された方々が自由に参加

今回の出展は、「従来は廃棄されるものでも工夫によって、美しく甦らせる」楽しさを体験していただ



楽しく資源を再活用

くことをテーマに、作品の出来上がりや、資源再活用の喜びを体感できるものとなりました。

参加された方からは、「楽しかった」「うれしかった」「幸せを感じさせてもらった」との声を寄せていただきました。担当された皆さんご苦労さまでした。

5. 「クラスⅡ、新システム検討委員会」開催

クラスⅡ活動にかかる「新システム」構築のための検討会をスタートさせました。

「クラスⅡガイド」は、区内の個人事業者（主）を対象としたシステムとして位置づけられていますが、実態的には、もっぱら小売等の商業者・商店であり、システムの持つ機能は有効に発揮しきれていないとの観点から取組むものです。

各登録事業者（多くは小売等の商業者・商店）が容易に取り組めるシステムとしての検討をめざし、環境配慮行動の啓発につなげてまいります。

なお、委員会は、毎月1回程度開催し、今年後半までに一定の目途をつけたいと考えています。また、検討に資するための実態調査を、環境ボランティア、学生ボランティア等により近々のうちに実施しますので、心当たりの事業者（主）に流布して頂ければ幸いです。

その他の活動

「第1回クラスⅡ・Ⅲ推進部会」開催

5月28日（火）、区役所会議室で第1回クラスⅡ・Ⅲ推進部会を開催しました。5名の委員のほか、区担当者、事務局が出席しました。主に、クラスⅡの「新システム」構築に向けた検討委員会の立ち上げや、クラスⅢ活動について話し合いがなされました。

クラスⅢ監査の実施（千代田区立障害者福祉センター えみふる）

6月4日（火）、クラスⅢに参加している「社会福祉法人武蔵野会 千代田区立障害者福祉センター（えみふる）」の監査を実施、監査結果報告書を区に提出しました。その後、26日（水）に開催された千代田区CES認証委員会において認証されました。



「学校向け・クラスⅢガイド説明会」開催

6月11日（火）、区役所会議室で区内の学校などを対象に「クラスⅢガイド説明会」を開催しました。当日は、高等学校や学園、幼稚園など5校が参加しました。

「第3回環境リーダー会議」開催

6月17日（月）、区役所会議室で第3回環境リーダー会議を開催し、12名が参加しました。

それぞれが担当している事業の進行状況などを報告するとともに、事業の内容をより良くするための意見交換などを行いました。今後は「CESさくら咲くプロジェクト」や「CES環境講座」の実施に向けて、引き続き準備していきます。

「監査員実務研修」実施

6月14日（金）～15日（土）、区役所会議室などで、7月から始まる区の監査に向けて「CES監査員実務研修」を実施しました。研修は3回に分けて行い、計20名の監査員が出席しました。

研修内容には、本番さながらの模擬（文書）監査もあり、出席者からは「時間が短かった、具体的な案

件で研修されたのが良かった」などの意見がありました。

読者からご意見をいただきました

先月号の「かんきょう」で割り箸に関する記事を掲載したところ、会員企業の職員の方から、ご意見をいただきましたのでご紹介します。

割り箸を巡っては、

- ①森林資源保護のために、飲食店等でも割り箸の使用はやめて、使い回しのできる箸を使うべきだし、個人でもマイ箸を持ち歩くべきだ

という意見と、

- ②割り箸は間伐材で作るのだから、森林資源の適正な維持管理のためには、積極的に割り箸をつかっていくべきだ

との意見を聞き、前々から、どうなんだろうと興味を持っていました。

ちょうど、昨年、森林整備の協定を結んでいる高山市を訪問し、飛騨杉の間伐材を使って割り箸を生産している工場を視察する機会がありました。その際、担当の方が、「自分のところでは、地元の間伐材を使って、無農薬で安全な割り箸を作っているが、どうしても単価が高くなってしまいます。（1膳、5～6円くらいだったか？）一方、国内には安価な（1膳、2～3円くらいだったか？）中国産の割り箸が大量に輸入されているが、それらは出所や農薬の使用等が不明なものだ」といった話をされていました。

結局、私なりの正解は、

「国産の間伐材を使った割り箸を積極的に使っていくか、それが無理なら、なるべくマイ箸を持ち歩き、森林破壊にもつながりかねない安価な中国産の割り箸は使わないように心掛ける」
といったところかと思っています。



環境配慮行動と一口にいっても色んな方法があり、どちらが環境に良いのだろうと考えてしまうこともありますが、情報収集し、考え、自分に合ったやり方を見つけ実践していく——という方法を見習いたいなと感じました。ご意見をいただき有難うございました。

かんきょう

「偏西風」

今年の梅雨入り・・・？気象庁は、九州から関東にかけての梅雨入りを、記録的な早さの5月27日から29日に発表しました。ところが、その後は各地で晴天の日々であったり、また、台風3号の影響もあり一部の地域で大雨が降ったりしました。

その原因は、上空の「偏西風」にあったようです。

気象庁では、梅雨入りの定義を「春の終わりから夏にかけて、雨や曇りの日が多くなる期間に入ってきたとき」と定めているようで、その判断のポイントは、「高度1万メートル付近を地球規模で西から東に吹く偏西風の状況」によるそうです。

日本の南の海上から吹き込む、湿った暖かい空気は、「偏西風」の南側で雲になり、雨を降らせる。即

ち、「偏西風」の通り道が変われば、雨の降りやすい場所も変わるということのようです。

今年の「偏西風」は、列島上空を斜めに蛇行し、九州から関東甲信にかけて広い範囲に雨を降らせた。その後は予想に反した形で6月上旬には、「偏西風」の通り道が南寄りに移動したため、湿った暖気が列島まで届かず雨が降りにくい状況になったようです。果たして今後の「偏西風」の状況は・・・？

気象庁は、7月中ごろまでの雨量は、「東日本と西日本で平年並み」、「北日本や沖縄では平年より多め」になりそうだと予想しているようです。

「地球環境」はこうした面でも刻々変化しているということでしょう・・・。

